

地区報 ぐみさわ

第9号

—— 地域の活動団体紹介コーナー ——

地域の中で活動されているボランティア団体の活動を紹介します。
活動内容をご理解いただき、地域皆様のご支援をお願いします。

◎ 交通安全母の会の活動について

戸塚交通安全母の会は昭和59年に発足した独自活動の団体です。当時の戸塚区は子どもの事故が多発し母親たちの悲しい思いから「交通安全は母親の力で、吾が子は吾が手で守ろう。」という思いの輪が広がり今日まで少しずつ活動を広げて参りました。

全国一斉に行われる交通安全キャンペーン、幼稚園・子ども会・*ふれあい会食での交通安全教室、自転車の正しい乗り方教室、安全協会とともに“はまっ子交通安全教室”、チャイルドシート装着教室等の活動をしています。また、連合町内会ごとに行われるフェアにて〇×形式で学べる交通安全クイズでマナーを学んでもらっています。（*ふれあい会食：4ページ参照）

汲沢地区では新入学児・納涼祭・敬老の集いにて啓蒙活動をしています。

夕暮れ時のドライブでは反射材で自分の身を守り、一つでも交通事故が減るようにご協力をお願いします。

私達は安心安全で住み良い汲沢になるよう活動しております。

（交通安全母の会代表：古賀理恵）

地区懇談会における活動発表会風景



*平成29年度 交通安全母の会役員氏名等（○印：代表者）

氏名	出身団体	氏名	出身団体
○古賀 理恵	汲沢町内会	福岡 春美	ぐみさわ東ハイツ自治会
小林勢津子	大久保自治会	油科 和子	汲沢さつき町内会
高橋 早苗	汲沢西団地自治会	大掛ミツ子	

工場見学記（青少年指導員）

青少年指導員の今年の夏休み期間中の行事について、「JAL整備工場・東ソー会社見学」(8月23日)を紹介します。

この行事は大正地区青指が主催の行事で、汲沢青指への参加依頼により急きょ実施した行事で、汲沢地区からは5名のお子さんに参加してもらいました。

当日は大正地区センターから貸し切りバスで、午前中に羽田の「JAL整備工場」、午後は戸塚区秋葉町にある「東ソー ウレタン研究所」(JR沿線にあります)の見学という内容です。普段は余り見る事の出来ない施設の見学で、参加した子ども達もとても楽しんでくれた1日だったと思います。（青少年指導員：金山保）

《 参加者の感想文 》

ライオンズマンション戸塚第3

南戸塚小4年 成田 あいら

私は、JALと東ソーの工場見学に行き、初めて見る工場や物、体験をして少し新しいことを学んできました。JALでは初めに教室で”飛行機はどのように飛ぶのか”とか”空港施設”などについて説明を受けました。スクリーンを使って国内や外国の空港の特徴の説明をもらい羽田空港は世界で清けつな空港であることを知りました。休憩・待ち時間には体験施設にある操縦席やキャビンアテンダントが座ってアナウンスをするシートに座ってみたり、売店で気に入ったお土産を買うことができました。



その後で整備工場の見学になり、飛行機が飛ぶところや飛行機を整備しているところを見学しました。実際に大きな飛行機の近くまで行き、機体についていろいろ分かりやすく教えてもらえました。

東ソーの工場では、だん熱材を作っているところを見学し、色々な機械があつて楽しかったです。その後は入浴剤を自分たちで作りました。入浴剤は重そうとクエン酸をビニール袋に入れ百回振ってまぜ、着色料と香料を入れました。私は高学年なので入浴剤を作りましたが、低学年の子どもたちはなわとびを作って、それも楽しそうでした。東ソーでは最後に沢山のお土産をもらって嬉しかったです。

—— 地区内自治会・町内会の活動紹介コーナー ——

「防災訓練」(ライオンズマンション第3自治会)

「6月24日(土)10時から12時で、ライオンズマンション戸塚第3自治会において、15名の参加で防災訓練を開催しました。前半は、大規模災害時の【災害対策マニュアル】に沿って、初動対応の実習を行いました。

まず、災害対策本部の置かれるマンション集会室に集合して初動対応の説明、安否確認・救護活動の実践として、各階(7階まで)に別れてトランシーバーでの交信を行いました。

続いて、ポータブル発電機に非常用ガソリン(缶詰)を給油し、エンジン始動を体験してもらいました。後半は、深谷消防所の田村所長によるAED講習を受け、皆さん真剣に心臓マッサージ、AEDを操作していました。

限られた時間での講習でしたが、参加者の防災意識は高まったのではないかと思います。」

(ライオンズマンション戸塚第3自治会：押田慶一)



※※ 敬老の集い

本年度で15回目を迎えた汲沢地区「敬老の集い」は9月3日（日）戸塚こぼと幼稚園体育館で開催されました。招待者（77歳以上）の皆さんには199名の参加をいただきました。

この中には近隣の高齢者福祉施設からの参加者9名がふくまれています。

過去5年間の参加者数は次の通りです。

H24年：164名	H25：156名	H26：172名	H27：183名	H28：190名
-----------	----------	----------	----------	----------

参加者の推移をみますと明らかに超高齢化時代を反映しており、来年は200名の大台になるものと思われまます。

式典では、田雑戸塚区長、加藤北汲沢地区連合町内会会長等から祝辞を頂きました。

第2部は「音の出前人」江さし純氏等による“独唱と合唱とトークショー”で全員参加型アトラクションとなりました。招待者皆さんの参加型アトラクションは平成22年の民謡合唱以来でしたが、皆さんに楽しんでいただけたのではと安堵しています。

来年も皆さんが元気なお姿で再会出来ます様、役員一同願っています。

（社会福祉協議会：本田 馨）



会場はほぼ満席状態



独唱と合唱とトークショー

※※ ぐみさわ納涼祭

「ソース焼きそば」。「浅草焼きそば」と呼ばれることもあるという。

昭和10年代に浅草で「焼きそば」のメニューが存在したことがルーツとされ、昭和30年代には子供のおやつとして駄菓子や売られていたらしいが記憶にはない。

「焼きそば」がポピュラーとなったのは昭和38年のインスタント麺「日清焼きそば」、昭和50年のチルド麺の発売がきっかけだろう。

鉄板1枚あれば調理可能、調理手順も簡単ということで今や模擬店の定番となったが毎年7月に開催される汲沢ケアプラザ納涼祭でも2年前から汲沢町内会で「焼きそば」コーナーを設け、1000食を提供しています。

「具材の用意」「焼き手」「パック詰め」町内会を中心としたコンビネーションは抜群、また小中学校の先生のお手伝いには心強いものがあります。

来年は愛情一杯手作り「汲沢焼きそば」として「ご当地焼きそば」への登録を目指し、2000食の提供を目標とします。

（汲沢町内会 吹上担当理事：鈴木義雄）



焼きそば風景
(先生方)



※※ ふれあい会食の会

ふれあい会食の会は、一人暮らし高齢者の方々を対象に年間13回、各回30名前後の方の参加があります。会食の会の前にはケアプラザの協力により健康体操も行われます。

花見やベタニヤホームで行われる誕生会等のイベントもあります。

この会食会（ミニデイ）は民生委員・児童委員等が中心となり地域のボランティアの方々の協力により10年以上も続いております。

会食会の献立は出来る限り地元の食材を使い、季節感を大切に手作りにこだわって工夫して提供しています。また今年度は念願だった松花堂弁当箱を購入することが出来ました。10月の会食会では松花堂弁当を作り、ケアプラザ内藤棚の下で会食を楽しみました。自然の中での会食は、天を味方に気分も晴れ晴れ、味も上々で大好評でした。

これからも多くの方々の参加をいただき、季節を味わい、手作りで笑顔溢れる楽しい会食会にしていきたいと思っています。

(汲沢地区汲沢町内会民生委員：近藤京子)



美味しく頂いてますよー



松花堂弁当です

編集後記

最近、いろいろなことが変わり目のような気がします。時代、環境、加えて自分の年齢も…。

皆さまの地域活動をご紹介する地区報ぐみさわも（地区社協ぐみさわ時代を含め）、多くの方々のご協力のもと、9号目の発行となりました。変わっていくもの、変えてはいけないもの、丁寧に見極めていきたいです。これからも地域でのご縁が良いものとして、長く続いていくために。

(K. N 記)